

第3回吹田市立総合運動場指定管理者候補者選定委員会 議事要旨

1 開催日時 令和7年11月5日(水) 開会 午後6時 閉会 午後8時

2 開催場所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室

3 次第

- (1) 選定方法の確認、事前評価の共有等
- (2) 応募者による事業計画書等の説明、質疑応答
- (3) 応募者の評価
- (4) 指定管理者候補者の選定、答申

4 出席委員 大島 博文 委員長 (大阪成蹊大学 経営学部教授)
橋爪 真 副委員長 (大和大学 政治経済学部教授)
柳瀬 真佐子 委員 (NPO 法人市民ネットすいた 理事長)
由上 敬子 委員 (吹田市社会体育リーダー協議会 副会長)
古曳 由美子 委員 (近畿税理士会 吹田支部)

5 欠席委員 なし

6 公開・非公開の別 非公開・公開

理由：吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針の第9項第2号及び吹田市情報公開条例7条第3号及び第4号の規定による。

7 会議進行

(事務局) 【選定方法、事前評価について説明】

(委員長) 吹田市立総合運動場指定管理者候補者選定に際し、採点表に記載の選定基準(3)評価項目ウの「安定的な管理運営が可能な財政的基盤」について決算報告書等の内容を委員より意見をいただきたい。

(委員) 決算報告書の資料より税引前当期純利益や純資産の数値など見たうえで、資金繰りや会社の健全性について問題ないものと判断する。

(委員長) 今の解説を聞いて委員の皆様は採点いただきたい。

【応募者入場】

(応募者) 事業計画書等の説明

(委員) 3点確認したい。1点目は、公共施設であることから利用者に寄り添う提案もして頂いているが、外国人も増えてきている状況で多言語の対応や想定はされているか。2点目は、

ここ数年熱中症への対応が施設では求められているが対策や事前に防ぐ対応は検討されているか。3点目は、利用者からの意見を聞きながら運営をされるとのことだが、一方的に話を聞くだけでなく、市民の皆さんに施設の運営を担ってもらうボランティア参画ということは検討されているか。

- (応募者) 1点目の外国人対応については、翻訳アプリを活用しながらコミュニケーションを取り、外国人の方でも不自由なくご利用頂けるよう環境を整備していきたい。2点目の熱中症対策については、競技する方だけでなく観覧される方へも対策が必要と考える。熱中症警戒アラートの発信やスポットでミストファンの設置を検討している。3点目の利用者のボランティア参画については、指定管理者となった際はインタビューやアンケートなど様々な聞き取り方法を活用し投げかけていきたい。
- (委員) スケールメリットを活かした一元管理について、吹田市内の複数施設も管理されているが総支配人及びエリアサブマネージャーは総合運動場を含む他施設と兼務か。
- (応募者) エリアマネージャーとサブマネージャーは本社のスタッフが市町村ベースを1つのエリアとして担当する配置を検討している。施設に常駐せず吹田エリアの複数施設をマネジメントすることで、スケールメリットを活かした経費削減に繋げる。
- (委員) 地域に根差した社会貢献や雇用創出とあるが、高齢者がなかなか雇用されないと聞く機会が多いため、高齢者への雇用創出についても期待したい。
- (委員) 地域の雇用について、年齢層はどの辺りを想定しているか。近年若い方で給料が安いことや職場環境により離職しているケースを良く見かけるが、どのような雇用を考えているか。また、収支計画における人件費から賃金設定はどの程度を目安にしているか。
- (応募者) 現在働いている方については継続雇用を考えている。他にも繋がりのある大学に声掛けを行い、アルバイトから将来的に希望があれば社員としてスポーツ施設の管理やインストラクターとして携わってもらう事も出来ればと考えている。人件費については、最低賃金の上昇も踏まえた試算となっている。
- (委員) 防災防犯対策について、総合運動場は避難所となっているがどのような災害やリスクがあると想定しているか。
- (応募者) 最近では気象の急変による落雷やゲリラ豪雨が多発していることから、館内放送や声掛けを行い室内への避難や誘導等利用者の安全面を優先し対応していきたい。
- (委員) 利用者層をどのように想定しているか、また施設特有の留意点はあるか。
- (応募者) 子供から高齢者まで幅広く利用いただいている。女性の利用者が少ないと考えているため、女性の利用者が使いやすいように変えていきたいと考える。
- (委員) トイレに関して、高齢者の方も和式ではなく洋式を希望されており、トイレの改修にあたっては洋式を中心にしてもらえると利用しやすいと思う。また、女性をターゲットとするのであれば女性が参加しやすいイベントなど色々と検討してほしい。
- (委員) 自主事業についてどのようなことをする予定か。
- (応募者) 初年度は現指定管理者の自主事業を継続して行う予定。次年度以降は利用者の声を聞きながら検討していきたい。その他は物販事業で収益性を出していきたい。
- (委員) 決算報告書内の預け金について、非常に金額が大きいがなぜか。

(応募者) 預け金については、当社グループ内資金管理の一環として親会社の口座に資金を預けている。

【応募者退場・委員による採点】

— 暫時休憩 —

【採点結果集計表配付】

(事務局) 【各委員が採点した合計評価点数の平均が60点以上であったため、指定管理者候補者となる基準を満たしていることを報告】

(委員長) 「吹田市立総合運動場条例第10条」の規定により、本選定委員会として、採点結果に基づき「南海ビルサービス株式会社」を指定管理者候補者とすることに異議はないか。

(全委員) 異議なし。

(委員長) 指定管理者候補者として異議なしとのことだが、答申に際して意見を付けるか。

(全委員) 意見なし。

— 答申書手交 —

8 その他事務連絡

事務局から今後の予定について説明

9 閉会